

# 2016 年度

## 海外派遣留学報告書

留学先：北京師範大学

留学期間：8月29日（月）～1月7日（土）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21015016  
上松彩香

## 目次

1	留学先及び留学期間.....	3
2	留学先概要.....	3
3	留学目的.....	3
4	留学期間中の主な内容.....	4
	4 - 1 留学中のスケジュール.....	4
	4 - 2 各項目の詳細.....	5
5	所感.....	5
6	おわりに.....	6
	謝辞.....	6

## 付録

	留学日誌.....	7
--	-----------	---

## 1 留学先及び留学期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：平成 28 年 8 月 29 日（月）～平成 29 年 1 月 6 日（金）

※帰国は 1 月 7 日（土）

## 2 留学先概要

### (1) 大学について

北京師範大学は中国で最も早く創立された近代教育機関の一つだ。北京大学とともに京師大学堂（1898）という母体から生まれ、1902 年に北京師範大学として再建された。現在は中国政府に指定された重点大学の一つであり、清華大学、北京大学、中国人民大学と並べて、北京の「四大名校」と称されている。北京市の中心部に位置し、社会施設の利用にも、町や史跡の見学にも大変便利だ。

### (2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は 22 の学院、36 の研究院および多数の学術研究所を持つ総合大学だ。学部での専門は 58 個、修士学位の専門は 166 個、博士学位 111 個あり、現在、4 年の学部生は約 8,900 人、大学院生は 11,300 人、長期留学生は 1,800 余人が在学している。蔵書は 410 余万点あり、中でも貴重な書籍や文献が 20 万点以上あり、国宝レベルの文献は 4 万点を有している。国際交流の面において、イギリス・アメリカ・ロシア・ドイツ・日本・韓国・シンガポールなどの国と大学間の交流を行っている。

本学留学制度の派遣先である漢語文化学院は、著名な言語学者をはじめ人文社会科学分野で活躍している代表的な学者が多く、国家の対外漢語教学の「人材育成基地」として中心的役割を果たしており、毎年全国から優秀な教師予備軍が選抜されてここに集まってくる。世界各国から多くの留学生や研究者が来ており、中国語・中国文化の教育には優れた経験と実績がある。

## 3 留学目的

派遣留学では、中国で一定期間生活しながら学ぶことによって、中国語能力を向上させるとともに、異文化理解を深め国際交流の重要性を体験的に学ぶ。

#### 4 留学期間の主な内容

以下から留学期間の主な内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4 - 1 留学中のスケジュール

留学期間中の主なスケジュールは以下のとおりである。

日付	予定
8月29日(月)	出発・到着、入寮手続き
8月30日(火)	入学手続き
9月1日(木)	クラス分け試験、Wi-Fi 手続き
9月2日(金)	入学式
9月3日(土)	クラス発表
9月4日(日)	教科書購入日
9月5日(月)～	授業開始
9月15日(木)～9月18日(日)	中秋節 授業なし
10月1日(土)～10月9日(日)	国慶節 授業なし
11月3日(木)～11月4日(金)	中間テスト
11月5日(土)～11月13日(日)	授業なし
11月5日(土)～11月10日(木)	語学実習 河南省旅行
11月13日(日)	留学生国際文化节
12月18日(日)	留学生北京之夜
12月28日(水)	授業最終日
12月29日(木)～12月30日(金)	期末テスト
1月6日(金)	修了式
1月7日(土)	帰国

##### 4 - 2 各項目の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)語学実習 河南省旅行

中間テスト後の1週間の休みを利用して、北京師範大学が企画した旅行。希望制だが、費用のほとんどを大学が負担するので、非常に安い値段で参加できる。他の留学生や中国人学生も参加するため多くの人と交流することができた。漢字博物館や現地の小学校などを訪問した。

ii)留学生国際文化节

国ごとに協力し合い、自国の文化や食べ物を出店の様にして出し合う。日本はお好み焼きとチョコバナナを作り、射的を楽しんでもらった。北京之夜の踊りも披露した。

iii)留学生北京之夜

各国の留学生が自国の伝統的な歌や踊りを披露する、留学生が中心となって行われる、お祭りのようなもの。日本は沖縄のエイサーを披露した。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)中国語の能力を向上させること

日常生活も授業も、日本での「見て理解する勉強法」に対し、中国では「聞いて理解する」ことが求められる。行ったばかりの頃は、外に出かけても聞き取れないことが多かったが、帰る頃には言っていることのほとんどが理解できるようになった。帰国後、一気に中国語を話す環境ではなくなるが、春休み中に中国語検定やHSKに挑戦することにより、中国語が抜けていくのを避けられ、また中国語の伸びを測ることができる。

ii)異文化交流をすること

副班主任の方が企画してくださった日中交流会で多くの中国人学生と知り合うことができた。それだけでなく、同じ北京師範大学にいる日本人やクラスの外国人との交流も貴重な体験だった。同じ中国語を学ぶ者同士でなぜ学んでいるのか、将来は中国語を使って何をするのか、などの話をして将来について考えさせられる機会が多くあった。

## 6 反省・課題

4 か月という限られた期間の中で、本当に多くのことを学ぶことができた。大学に入ってから初めて触れた中国語を本気で学ぶためにも、この留学という選択をして本当に良かったと思う。机に向かって勉強することだけが勉強ではないこと、積極的に学ぶことの重要性を、身をもって体験することができた。また、今回の留学を通して次の目標を見つけることができた。これも留学を通して得た大きな収穫だと思う。

中国語が少ない環境で生活する中で、今回の留学を通して身に着けた中国語能力をどのように維持しつづけるかが今後の課題になる。そのため、中国語の様々な検定に挑戦していきたい。

### **謝辞**

今回、北京師範大学に 4 か月間留学に行けたことに感謝いたします。出発前・帰国後のご指導賜りました佐藤先生、區先生、留学の各種手続きに関わってくださった学務課の方々に感謝いたします。そして、留学期間中私たちを様々な面からサポートしてくださった何玲玲さん、北京師範大学の先生方、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録では留學生活の細かな部分について記載する。

### 1) 授業編

授業スケジュールは以下のとおりである。

	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
8:00~8:45 第1节	会话	听力		读写	听力
8:55~9:40					
10:00~10:45 第2节	读写	会话	读写	( 辅导 )	会话
10:55~11:40					
11:40~13:30	昼休み				
13:30~14:15 第3节	看报		中日文化交流		
14:25~15:10					
15:30~16:15 第4节			听力	太极拳	
16:25~17:10					

・クラスは中国に着いてすぐ行われるクラス分けテストによって決められる。クラスは 6 段階に分けられる。

・1クラス 17、8人ずつ。

・クラスには、ほかの大学から来た日本人もいた。

・授業は、朝は8時からでとても早く、慣れるまでが大変だった。しかし、朝早い分午後から授業がない日もあるので自分の時間がとりやすい。

・授業は45分ごとで区切られている。間に10分間の休憩が入るため、集中しやすい。

#### i) 会话 Speaking 週3回

現地生活に馴染む会話の訓練をし、社会文化の内容に広がる会話を習得する。だいたい1週間で教科書1課ごと進む。1回目の授業では教科書の本文をペアになって読み、本文要約の練習をした。2回目は本文中に出てくる重要な単語や文法の説明。またそれを使ってペアで会話をしたりした。その文法を使ったワークの問題にも取り組んだ。翌週の授業の時に文法の小テストが行われた。2回目の授業の終わりにパワーポイントを使用し、その課に沿ったテーマを紹介する課題が出される。3回目の授業ではその発表をしていた。自分の国の料理、好きな料理の作り方、家の紹介、好きな映画の紹介、自分の国特有の祝日の紹介などをした。他にも、毎回の授業の初めに1人ずつパワーポイントを使って発表するという時間が設けられていた。4か月間の授業のうち1人2回まわってきて、私は自分の趣味と新潟について紹介した。

#### ii) 读写 Reading 週3回

多くの文章を読解し、文章を書く能力・書面形式による表現能力を身に付ける。1～2 週間かけて1 課を学ぶ。この授業は、漢字をすでに知っている日本人にとっては簡単に感じるが、他の外国人にとっては難しい教科である。そのため、1 課につき約 40 前後の単語が出てくるが、ひとつひとつを細かく説明してくれる。また文法も多く出てくる。すでに習ったものもあるが初めて見るものが多かった。話し言葉だけでなく、書き言葉も学んだ。1 週間で習った事柄を翌週に確認する小テストが行われていた。

### iii) 聴力 Listening 週 3 回

現地の人々とのコミュニケーションのための、リスニング能力を鍛える。1 週間で1 つの物語を学んだ。授業は先生によって進め方も違うが、私にとって最も苦勞した授業だった。授業では、教科書などは見ずに耳だけを使って内容を理解するトレーニングをした。そのため、予習ではたくさん CD を聞き多くの時間を費やした。翌週には先週学んだ単語や文法を使い先生が言った文章を書き取る聴写という確認テストのようなものが行われていた。

### iv) 辅导 Tutorial 週 1 回

会話・読写・聴力の教科を問わず質問できる時間。質問しても分からないときは英語も使いながら説明してくれる。質問があるときだけ教室に行く、という形式だった。

※以下 3 つは本学の学生のための授業

### v) 看報 週 1 回

中国語の新聞を読み、自分の考えを中国語で発表したり話し合ったりする。ゼミのような授業。2 週間に 1 回、自分で好きな新聞記事を選び、それについてワードで要約・考え方・問題点をまとめて提出する。授業の前半では、1 回の授業で 2 人ずつ自分が選んだ新聞記事を発表し、皆で自分の考えを述べその問題点について議論する。授業の後半では教科書に載っている新聞記事について学ぶ。最初は難しく感じるが、語彙力もつきだんだん慣れていった。

### vi) 中日文化交流 週 1 回

授業の前半では、日本と中国に関係のある歴史上の人物について学ぶ。1 回目授業の時に自分の担当の人物を選び、毎週 1 人ずつ日本語で説明していく。そのために、事前に説明のパワーポイントとその人物について最も重要なことを表す 5 文の中国語を作っていく。そして授業の時に説明する。定期テストの時にこの 5 文の暗唱テストが行われる。

授業の後半では、日本語の文章を中国語に翻訳する練習をする。この授業の先生は日本語が話せるので日本語を交えながら授業が進められるため、日本でやっていた授業と少し似ている。他の授業で分からないことがあったら、授業終わりに聞くこともできる。

### vii) 太极拳 週 1 回



本場の太極拳を学ぶ。先生は体育系の学部の学生。この授業は外の広場で行われるので冬は本当に寒い。雨が降った時には休みになることもあった。最後の授業までに太極拳一通り学んだ。太極拳の他にも護身術のようなものも学んだ。

## 2) 日常編

### 8月29日(月)：出発日

全員で新潟駅を出発し、成田空港で佐藤先生と合流。時間に余裕をもって手続きを終え、日本を出発した。空港でこれから私たちの生活をサポートしてくださる副班主任の何玲玲さんが待っていた。この時に学生証と学生カードをもらった。同じ時間に到着した留学生と北京師範大学が用意したバスに乗り、大学へ。そして寮についてデポジットの100元を払い書類を書くなどの入寮手続きをした。この時にルームメイトも決まった。

### 8月30日(火)：入学手続き

佐藤先生と何さんと留学生办公室へ行き、日本での事前研修の時に渡された書類と証明写真1枚を提出した。そしてこの時に、今後のクラス分けテストや入学式の日程などの説明があった。また、師範大学での生活や手続きなどについて書かれた冊子をもらった。

### 8月31日(水)

#### 午前

何さんに学生カードのチャージのやり方を教えてもらった。大学内のスーパー、食堂、寮のすぐ近くのお弁当屋さんなどはカードで買うので頻繁にチャージしていた。

#### 午後

何さんに学外の大きなデパートへ案内してもらった。基本的には寮のスーパーで何でも揃うが、ここでこれからの生活に必要なものを買そろえた。

### 9月1日(木)：クラス分けテスト、Wi-Fi手続き

#### 午前

これから授業を受ける「教二楼」という所でクラス分け試験。リスニング、筆記、口頭試験が行われた。リスニング、筆記が終わった人から口頭試験を受けた。リスニングは難しく感じた。口頭試験は比較的簡単で、渡された文章を読んで、そのあと大学名や学部などを質問された。

#### 午後

大学内のWi-Fiの料金の払い方を何さんに教えてもらった。ATMや学生カードのチャージもできる寮の近くへ行き、機械で行った。このWi-Fiは大学の敷地内でしか使えないので、あまりにも使いすぎたりしなければ毎月20円で足りていた。

(※中国での生活でスマホはずっと機内モードにして、Wi-Fiがあるところだけで使用して

いた。それ以外のところで使用してしまうと高額な料金がかかってしまうので要注意)

#### 9月2日(金)：入学式

学生活動中心で入学式。北京での生活の注意点などを話していた。式典は全部中国語で、そのあとに英語と韓国語の通訳があったが全く聞き取れなかった。終了後、何さんが入学式の時に言っていた大事な内容を日本語で説明してくれた。

#### 9月3日(土)：クラス分け発表

クラスは、みんな同じレベルでそこから5つのクラスに分けられていた。私たちは10人中、3・4人に分かれた。

#### 9月4日(日)：教科書購入日

第一公寓の1階で教科書を購入した。この日は、留学生全員が受ける会話・读写・聴力の教科書のみを購入し、その他の科目は先生から指示を受けた後、同じ場所で購入した。

#### 9月5日(月)：授業開始

初回の授業では、自己紹介や隣の席の人と喋ったりしていた。授業の時に座る座席は決められていないので、クラスのいろいろな人と交流することができる。また、この日には、授業の進め方や予習の仕方の説明があったので注意して聞く必要があった。

#### 9月8日(木)：中日文化交流会

何さんが企画してくれた私たち10人と師範大学で日本語を学ぶ中国人学生との交流会。日本語学科の人たちはすごく日本語が上手で驚いた。この時に、準備してきた日本に関するクイズと中国語の歌を披露した。日本語学科の人たちも歌やダンスを準備していた。班ごとに分かれていろいろな人とお喋りをした。最後には、多くの人と微信を交換して交流会後も連絡を取りあい、出かけたりご飯へ行ったり中国語や日本語を教えあったりしていた。この翌日にも、北京ダックを食べに連れて行ってもらったりした。

#### 9月17日(土)

何さんに私たち10人を天安門広場へ連れて行ってもらった。他にも故宮、景山公園、北海公園へ行った。この日に初めてバスや地下鉄に乗って遠くまで行った。バスは交通量が多いため急ブレーキも多く注意が必要だった。下りるときに早く下車しないと、全員下りていなくても扉が閉められてしまうため今後注意しなければならないと感じた。

#### 10月1日(土)～10月4日(火)：内モンゴル旅行

国慶節で 1 週間の休みのため、内モンゴルへのバスツアーに参加した。この休みを利用して個人的に北京以外へ旅行する人もいたが、このようなバスツアーのほうが安全で値段も安く抑えられる。その上、このバスツアーの参加者のほとんどは北京で生活している日本人のため、たくさんの人と交流できた。旅行中、草原で馬に乗ったり砂漠でラクダに乗ったりと貴重な体験ができた。

10 月 9 日(日) : 万里の長城

北京師範大学の企画で、無料で万里の長城へ行った。多くの外国人学生も参加していた。初めての万里の長城は道が急で上まで行くのは大変だったが、天気も良くきれいな景色を楽しめた。

11 月 3 日(木)～11 月 4 日(金) : 期中考試

12 月 28 日(木)～12 月 29 日(金) : 期末考試

テストは基本的に毎日の授業で予習復習していれば、テストの準備のために何週間もかける必要はなかった。

・会話

会話のテストは筆記試験と口頭試験があった。口頭試験はこのテスト期間よりも前に行われた。先生に指定された文章を読み、そのあと選択肢から自分で好きな話題を選んで約 1 分話すという課題。筆記試験は単語の量詞を書く問題と授業中に学んだ文法に関する問題。小テストの復習とワークを事前にやっておけば解けるような内容だった。

・听力

内容は授業で学んだ本文とは別で、習った単語と文法を使った文章が流れ、その間に答える。

・读写

会話や听力に比べて問題量も多く難しく感じた。ピンインを見て漢字を書く問題や文法に関する問題、作文も出題された。教科書ノート、ワークを細かく復習する必要があった。

・看报

期中考試は 20 分程度で終わる簡単な小テストのようなものだった。期末考試は教科書で出てきた単語や内容を問う、穴埋め問題や要約などがあった。

・中日文化交流

口頭試験と筆記試験があった。口頭試験は、事前に毎回の授業でやった 1 人の人物に関する 5 文×5 人分を暗唱してくる。テストの時にクジで 1 人決め、その人の 5 文を先生の前で言う。筆記試験は比較的簡単で、授業中に解説した翻訳の問題がそのままテストに出題される。

・太极拳-試験なし

11 月 5 日(土)～11 月 10 日(木) 語学実習 : 河南省旅行

寝台列車と新幹線で往復し、とても豪華なホテルに滞在したにもかかわらず、北京師範大学が費用を負担してくれるため 500 円で参加することができた。旅行では、漢字博物館や現地の小学校を訪問した。また、今回の私たちのために準備していた本場の京劇や演芸も見ることができた。この旅行は班ごとに分かれていて、チームリーダーは皆中国人学生のため、全く日本語が通じない状態だった。そのため、中国語能力を向上させるいい機会だった。

#### 12月18日(日) 留学生北京之夜

私たちは日本人の希望者で集まって沖縄の踊り「エイサー」を踊った。この日のために約2か月かけて準備をしていた。このイベントは、北京師範大学の最大のイベントのため、中国人学生はもちろん、外国人も多く見に来ていた。

#### 1月5日(木)

私たちのお世話をしてくれた何さんに感謝する会ということでご飯を食べに行った。この時に、各自で準備した何さんへの手紙や日本らしいプレゼントを渡した。

#### 1月6日(金)修了式

修了式では各クラス1人の優秀学生の表彰があった。期末考試の後に授業がないため、この時に成績表が渡された。



#### 9月8日(木)中日文化交流会



10月2日(日)内モンゴル旅行：クブチ砂漠



10月22日(土)日中交流運動会



12月18日(日)留学生北京之夜